

平成 2 3 年 死 亡 災 害 事 例

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No. 1 1 月 1 2 時頃	貨物自動車 運転手 5 0 歳代 3 0 年	一般貨物自動車 運送業	崩壊・倒壊 荷姿の物	客先で、トラック荷台内の原卵が入った ラック（約 370kg）をトラック後部に設置 されたパワーゲートに乗せて降ろす作業 中、ラックが何らかの原因により倒れ、下 敷きとなって死亡した。
No. 2 1 月 1 3 時頃	とび工 4 0 歳代 1 8 年	鉄骨・鉄筋コ ンクリート造 家屋建築 工事業	墜落・転落 建築物・ 構築物	気象観測用鉄塔を上部から約 4 m ずつに 切断して解体する作業の（当初高さ 216m、 災害発生時高さ 56m）高さ 50m に位置する 踊り場において、鉄骨等の溶断のために、 被災者は U 字つり専用安全帯を直径 30 c m の鉄柱に回し、その鉄柱にクレーンで吊る ためのシャックルの通し穴を溶断加工中、 溶断時に発生する溶解した鉄の滴が、安全 帯のランヤードのロープ部に当たり、その熱 によりロープが溶けて切断し、被災者は地 上に墜落し死亡した。
No. 3 1 月 6 時頃	作業員・ 技能者 6 0 歳代 4 0 年	その他の建築 工事業	交通事故 （道路） 乗用車・バ ス・バイク	工事現場から会社事務所に社用車で戻る 途中、ハンドル操作を誤って道路脇のグラ ウンドのフェンスに激突し、死亡した。
No. 4 2 月 0 時頃	運転手 4 0 歳代 3 年	一般貨物自動車 運送業	交通事故 （道路） トラック	国道の路肩に車両運搬車を停めて車両の 荷下ろし作業を単独でしていたところ、後 ろから走行して来たトラックに追突され、 近くにいた被災者が巻き込まれて死亡し た。
No. 5 3 月 1 4 時頃	行員 4 0 歳代 2 0 年	銀行・信託業	交通事故 （道路） 乗用車・バ ス・バイク	集金業務のためバイクで走行中、トンネ ル内にて道路左側の縁石にバイクが接触し て転倒、備え付けの消火器ボックスに頭、 胸を強打して死亡した。
No. 6 ~ 9 3 月 1 4 時頃	とび工 4 0 歳代 1 2 年 4 0 歳代 1 9 年 2 0 歳代 1 0 年 1 0 歳代 1 年	機械器具設置 工事業	墜落・転落 その他の 環境等	労働者 7 名で、高さ 2 3 0 m の 2 号機煙 突筒身工事の、頂部プラットホームの設置 作業及び足場の解体作業中に、風が出てき たため作業を中止しようとして、高さ 2 2 0 m の 1 1 H ステージ（1 号機の建設時にグレー チング）において、使用した部材の飛散 養生作業を行っていたところ、地震が発生 し、当該プラットホームの床とともに墜落 し、労働者 4 名が死亡した。 「震災直接災害」

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.10 3月 15時頃	運転者 30歳代 10年	一般貨物自動車運送業	その他 水	トラックによる荷の配送業務のため、福島県いわき市へ行った際に東北地方太平洋沖地震が発生、津波警報が発令されたためトラックに乗って逃げようとしたが、間に合わずトラックごと津波にのまれてしまった。その後3月26日、ガレキの下から遺体が発見された。 「震災直接災害」
No.11 3月 15時頃	その他の職種 60歳代 3年	水産食料品製造業	その他 水	福島県いわき市で、東北地方太平洋沖地震の発生に伴い、津波が懸念されたため、漁港から自家用車で避難する途中、家屋の火災が発生したことによる渋滞で立ち往生してしまい、津波にのまれてしまった。 「震災直接災害」
No.12 4月 13時頃	とび職 70歳代 40年	その他の建築工事業	墜落・転落 屋根・はり・もや・けた・合掌	木造2階建て民家兼店舗の屋根で、瓦撤去後、被災者を含む3名が屋根をブルーシートで覆う作業中、高さ約6mの屋根端部から足を踏み外して墜落し、死亡した。 「震災復旧工事災害」
No.13 4月 13時頃	大工 60歳代 52年	木造家屋建築工事業	墜落・転落 足場	木造2階建て新築工事現場において、外部足場の足場板(高さ4.5m)上で、躯体の2階部分の耐力壁として合板を設置するため合板の運搬作業中、別の作業員から合板(280cm×90cm、重さ約15kg)を受け取った直後、躯体と足場板の間の開口部から躯体内部の1階床面に転落し、5日後に死亡した。
No.14 5月 14時頃	作業員 30歳代 1ヶ月	陸上貨物取扱業	激突 フォークリフト	物流倉庫内で、仕分けした製品の運搬のため、通路(製品ラックの間)をフォークリフトで運行中に方向転換するためバックしていたところ、金属製ラックに置かれた積荷パレット(重量約360kg)に運転を誤って激突し、フォークリフトとパレットの間にはさまれ、死亡した。
No.15 6月 6時頃	管理者 30歳代 10ヶ月	その他の卸売業	その他 その他の起因物	自宅で急性心不全により死亡。 過重労働(長時間労働)による業務上と決定。

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.16 6月 8時頃	石工 30歳代 7年	その他の土石 製品製造業	激突され 移動式 クレーン	共同墓地にて、震災により倒れた墓石を 建て起こす作業のため、トラッククレーン に積んだミニクローラクレーンを当該トラ ッククレーンで地上に降ろそうと吊上げる 作業中、アウトリガーが地中に埋まりトラ ッククレーンが傾いたため、ミニクローラ クレーンと側方に停車していた乗用車の間 に挟まれ、死亡した。 「震災復旧工事災害」
No.17・18 8月 4時頃	運転者 40歳代 0年	その他の事業 —その他	交通事故 (道路)	顧客の自動車とともに顧客を送り、事務 所に戻るため、一人が代行車を運転し、一 人が同乗して国道を走行中、対向車線から 中央分離帯を乗り越えて飛び出してきた乗 用車に激突され、2名とも死亡した。加害 乗用車は、代行車の後続のトラックにも激 突し横転、加害運転手は軽傷を負った。
	30歳代 3年		乗用車・バ ス・バイク	
No.19 9月 8時頃	誘導員 40歳代 1年	警備業	はさまれ・ 巻き込まれ 掘削用機械	道路舗装補修工事場所において、一次下 請の作業員がドラグ・ショベルでマンホ ール周辺のアスファルトをはぎ取る作業中、 ドラグ・ショベルを後進したところ、補修 工事場所の後方で交通誘導をしていた誘導 員がひかれた。
No.20 9月 18時頃	船舶運転 手 60歳代 32年	港湾海岸 工事業	おぼれ その他の乗 物	埠頭に係留中のバックホー台船内の職員 食堂にて夕食を済ませ、台船から就寝場 所である曳船に戻る際、通行設備がなかつ たため、何らかの状況により渡りそこね、海 中に転落、溺死した。
No.21 10月 10時頃	作業 者 60歳代 9年	上下水道 工事業	交通事故 (道路) トラック	千葉県内の事業場から茨城県内にある住 宅の浄化槽の設置工事現場へ向かうため、 軽トラックを運転して片側1車線の緩やか なカーブ道路を走行中、何らかの原因によ り対向車線にはみ出し、対向して来た大型 トラックに正面衝突した。病院に搬送され たが、同日、死亡した。
No.22 11月 11時頃	作業 者・ 技能 者 50歳代 4年	産業廃棄物 処理業	はさまれ・ 巻き込まれ ローダー	廃棄物処理施設において、ショベルロー ダーを使って不燃ゴミの運搬作業中に、後 進したところ、付近を歩いていた被災者が ひかれ、その後、収容先の病院で死亡した。

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.23 11月 4時頃	運転者 60歳代 9年	一般貨物自動車運送業	交通事故 (道路)	道路を走行中、路側帯から本線に進入してきたトラックと衝突し、助手席に乗車していた労働者が外に投げ出されて死亡した。
			トラック	
No.24 11月 8時頃	作業員・ 技能者 40歳代 20年	その他の建築 工事業	踏み抜き	酒の仕込蔵の屋根で、修繕のため（震災復旧工事）屋根瓦及び屋根瓦下の土葺（20～30cmの土の層）の撤去作業を行っていたところ、土葺下の杉皮及び野地板を踏み抜き、約6.7m下の地面に落下し、死亡した。 「震災復旧工事災害」
			屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	
No.25 11月 17時頃	作業員・ 技能者 60歳代 30年	建築設備 工事業	墜落・転落	震災で破損した原炭槽の増設工事場所において、原炭槽（高さ18m）の最上部に生じていた開口部（2.5m×65cm）の養生のために開口部上に並べた足場板を並べて番線で結束していたところ、被災者が足を掛けていた足場板がずれて外れ、足場板と共に約17m下の槽の底に転落し、死亡した。 「震災復旧工事災害」
			建築物・ 構築物	
No.26 11月 10時頃	軽作業員 60歳代 40年	機械器具設置 工事業	墜落・転落	下水処理ポンプ場電気設備災害復旧工事場所において、配電盤の撤去作業終了後、床の開口部（950mm×1510mm）を塞いでいたパレットを搬出しようとして同僚と共に手で持ち上げ移動しようとしたところ、被災者が開口部から3.74m下の地下ピットに墜落し、さらに下の汚水貯蔵槽に落ちて死亡した。 「震災復旧工事災害」
			開口部	
No.27 11月 13時頃	社会福祉 事業専門 職員 60歳代 5年	その他の 保健衛生業 —その他	交通事故 (道路)	訪問介護利用者宅へ向かうため、自動車を運転して市道を走行中、道を間違えたためUターンしようとして後退したところ、運転操作ミスにより、川と市道の間にある堤防（高さ約60cm）を乗り越えてしまい、自動車ごと川に転落し、その後、収容先の病院で死亡した。
			乗用車・バ ス・バイク	
No.28 11月 15時頃	作業員・ 技能者 20歳代 1年	採石業	墜落・転落	1次堆積場の山の上に、トラクタ・ショベルで3次側プラントのコンベアの下にたまった落鉱を降ろす作業中、バックで山の上からスロープを下りる際に、左後方の法面に左後輪が乗り上げ、車体がバランスを崩し転倒した。トラクタ・ショベルはスロープ下の地面に転落し、運転していた被災者は運転席から落ち、ショベルと地面の間に挟まれ、8日後に死亡した。
			整地・運 搬・積込用 機械	

NO. 発生日時	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.29 11月 0時頃	運転手 30歳代 1年	一般貨物自動車運送業	交通事故 (道路)	同僚と4tトラックで物流センターから会社に戻る途中、高速道路でガス欠になったので、ロードサービスに給油を依頼し、トラックを路肩に止め、助手席脇で給油作業を見ていたところ、走行してきた大型トラックに当該トラックが追突され、トラックとガードレールとの間に挟まれ、搬送先の病院で死亡した。
			トラック	
No.30 12月 16時頃	解体工 30歳代 10年	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築 工事業	崩壊・倒壊	建築中のメタン発酵槽コンクリート躯体に設け、コンクリート打設したメンテナンス作業架台（庇状のコンクリート構造物のもの）の脱型のため、パイプサポートを外し、1名が構造物の上で、1名が下で型枠材を取り外していたところ、アンカーボルトが躯体から抜け構造物が落下し、下にいた1名が死亡した。
			建築物・ 構築物	
No.31 12月 15時頃	土工 60歳代 30年	木造家屋建築 工事業	墜落・転落	木造住宅新築工事現場において、1階の梁の上（高さ約4.3m）で、すみ木の取付け作業を行っていたところ、被災者は材木とともに1階床に落下し、頭部を負傷した。
			屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	
No.32 12月 10時頃	作業員・ 技能者 70歳代 5年	電気通信 工事業	墜落・転落	工場内の電話機設置及び電話線布設工事において、被災者は同僚と2階天井裏で電話線の引き込み作業を行っていたところ、材料を取りに行こうとして、後ろの開口部（点検口70cm四方）から3m下のコンクリート床に墜落し、7日後に死亡した。
			開口部	